



阿部町長（中央）と握手を交わす（左から）小野、近藤両選手（9日午前10時40分）

「メダル持ち帰る」 女子アイスホッケー代表 小野、近藤選手が抱負

【清水】平昌冬季五輪女子アイスホッケー日本代表（スマイルジャパン）に選ばれているフルタイムシス

テム御影グレッズのFW小野粧子選手（36）とGK近藤真衣選手（25）ともに町内在住Ⅱが9日午前、町

役場を訪れ、阿部一男町長に五輪へ向けた意気込みを語った。

両選手はグレッズの細田秀夫監督、西山輝和部長とともに訪問。小野選手は「五輪は小さいころからの夢。最高のパフォーマンスができるよう準備し、最高の笑顔で戦い、メダルを持って帰りたい」、近藤選手は「確実に試合に出られる立場ではないが、出場したときには流れを変えるプレーをし、チームとしてメダルを取りたい」とそれぞれ抱負を述べた。

阿部町長は「町在住者の五輪出場は初。清水で培った力を発揮し、五輪を目標とする子どもたちなどの見本になってほしい」と期待を寄せた。

せた。両選手へ祝い金を贈呈し、握手を交わした。
13日午前に町アイスアリーナで開催の全十勝チビッコ御影大会A級の開会式後に壮行セレモニーが開かれる。
(松村智裕)